

# ぽらーの花巻

JAIいわて花巻 PublicRelationMagazine, PolanoHanamaki

特集

## 第19回 通常総代会



ちょっといい話

# レタスのあれこれ



## レタスの栄養

レタスは、約95%が水分で出来ているため、他の野菜と比べて栄養価が高くないですが、ビタミンEやカルシウム、鉄、カリウムなど、たくさんの栄養をバランス良く含んでいます。日々の献立に加えることで、不足しがちな栄養素の補給となり、毎日少しずつ食べるのがオススメです。



中でも、ビタミンCやカロテンなどは抗酸化力がとても強く、免疫力アップやがん予防効果が期待できます。また、レタスは100gあたり12kcalと非常に低カロリー。歯ごたえもあり、よく噛んで食べるため、ダイエットにオススメの野菜です。

## 夏にもオススメ!

これから、暑い日が続くと心配になる夏バテ。夏バテになると食欲がなくなり、体調もすぐれない…。そんなときにオススメなのがレタスです。レタスには、たくさんの水分が含まれており水分補給になるほか、レタスに含まれるビタミンUが胃の動きを良くし、食欲を増進させてくれます。



猛暑が予想されている今年の夏。レタスを効果的に食べて、暑い夏を乗り切りましょう!

## 新鮮なレタスの選び方

玉レタスは、重さに注目。持ったときに、軽めの物が新鮮です。また、明るくライトな緑色で、葉の巻きがふわっとハリのある物を選びましょう。芯の切り口にも気を付け、白くみずみずしい物がより新鮮です。



サニーレタスは、葉先が色濃く鮮やかで、パリッとしたみずみずしい物を選びましょう。

## レタスの保存方法

レタスの芯を、包丁などを使わずにくり抜き、濡らしたキッチンペーパーを詰めるか、芯を濡らしたキッチンペーパーで当てるなどして、芯を濡らした状態で保存すると長持ちします。また、レタスは乾燥に弱いので、湿らせた新聞紙やキッチンペーパーで包みポリ袋に入れ、芯を下にして冷蔵庫で保存しましょう。サニーレタスの場合は、葉先を上にしてた状態で保存するのが良いです。



1.固い絆で結ばれている部会員たち 2.収穫は9月中旬まで続くが、ピークは6月中旬。ほぼ毎朝収穫する 3.切り口を以前は布巾で拭いていたが、鮮度を保つ工夫を重ね、現在は清水で洗浄している 4.定期的な指導会を開き、高品質栽培に繋げる 5.部会員が真心込めて作った「遠野産レタス」。採れたてをその日のうちに市場へ届ける

**周** 囲を山々に囲まれた盆地 地帯、遠野市。その盆地 特有の寒暖差と豊かな自然に より、おいしい野菜が育つ。 多種多様な野菜の栽培が盛ん な遠野市で、この時期に収穫 を迎えるのがレタスだ。

午前4時。農家が収穫を始める時間だ。レタスの収穫は、鮮度を保つために気温が低い 早朝から始まる。菊池啓造前 部会長(表紙写真左手前)は「レタスは鮮度が大事。特に、切り 口を清潔に保つ事に気を付けて いる」と話す。収穫後、す ぐに清水を霧状に吹きかけ切 り口を洗浄する。新鮮なま ま消費者に届けたい。この 思いが、彼らの根底にある。 さらに、鮮度を保つ工夫は 輸送にも。午前10時には遠野 産レタスのみを乗せたトラッ クが発売し、市場へ直行。そ の日のうちに東京都の市場に 到着し、みずみずしいレタス を消費者に届けている。

そんな、彼らのこだわりと 真心で作られているレタス。 その真摯にレタスと向き合う 姿勢は、収穫だけではない。 「安全安心な物を栽培しよう」と、特に薬剤散布には細心の 注意を払う。使用基準を栽培 指導会で確認するほか、お互 いに声を掛け合い、信頼され る産地を築いている。向上心 も常に忘れない。目ざろえ会 では、レタスを持ち寄り、自 分の物と比べて勉強する一

方、日々の隣近所との細かな 情報交換は欠かさない。 ここ、遠野市でレタスの栽 培が始まって約40年。消費者 目線に立ち、「新鮮」と「安全 安心」をキーワードに長年栽 培し続けている事が、今の誇 り高き産地に繋がっている。 菊池前部会長は「これからも 継続して品質の良いレタスを 消費者に届ける」と意気込む。 その言葉に込められているレタ スが朝日に輝いていた。

# “品質の良いレタスを消費者へ” 一筋の熱き思いを胸に、惜しまぬ努力

JA遠野地域野菜生産部会 遠野市



【部会データ】遠野地域の野菜栽培者319人で構成。レタスのほか、ピーマンやホウレンソウ、キュウリなど多品目を栽培している。部会員のうち、レタスを栽培するのは21人で約4haを栽培。シスコやメルカド、ユニバースクラシックなど約10品種を栽培し、関東圏に出荷している。平成28年度の実績は、数量2万7,115ケース(1ケース5kg)で、販売額は1,600万円。

CONTENTS

ぼらーの花巻 ●No.232 / 平成29年(2017)6月号

02 ぼらーのCOVER STORIES  
愛農土に生きるII

04 組合長就任のごあいさつ

06 特集  
第19回通常総代会

14 ぼらーのNEWS ●地域の話

16 あぐりネット

18 かがやく女性部 / 食と農の掲示板

19 旬の産直大百科 / ぼらーの広場

20 Information ●理事会だより / 監事会だより

24 風趣点景 ●管内四季だより / 編集後記

基本理念

新鮮で安全な農畜産物を作るには「いい土」と「きれいな水」が基本です。そして、農家の愛情が加わることで消費者にも“おいしさ”が伝わるものであり、「農と共生」の心がここに生きています。JA いわて花巻は、イーハトーブの大地に根ざした、環境にやさしい農業をめざして“発進”します。

愛・農・土  
—いい土、いい水、いい心—



経営理念

私たちのJAは、農業者の相互扶助組織として各種の事業活動を通じて、わが国農業の発展、安全安心な食料の安定供給及び地域経済・社会の発展に寄与します。

また、地域金融機関として信用を維持し、貯金者の保護をはかるとともに、金融の円滑化のため業務の健全かつ公正な運営を確保するよう公共的使命を担います。

私たちのJAは、これらの社会的責任を誠実にはたし、組合員及び地域社会の要請に応えるとともに、信頼される組織文化を創造します。

実践項目

1. 組合員の豊かな暮らしをつくります。
2. 「農」と「共生」を基本とした地域社会をつくります。
3. 経営基盤の強化と効果的・効率的な事業運営をすすめます。
4. 活力ある職場をつくります。

基本姿勢

スローガン

JA いわて花巻は地域から自慢されるJA、  
職員が自慢できるJAを目指します

地域から  
自慢されるJA

目指す姿

職員が  
自慢できるJA

生産者と消費者・利用者の  
懸け橋として、信頼される  
JAいわて花巻を創造



代表理事組合長  
阿部 勝昭

この度、代表理事組合長として就任しました阿部勝昭です。

農業、JA組織に対し変革を求められている中、前高橋専太郎組合長は独自の理念を持ち、その信念のもとにJAいわて花巻をけん引してきました。

そして、JAいわて花巻が広域合併10年目に際し揺るぎない経営、財務基盤を確立し勇退した高橋組合長の後継を務めるに当たり、その重責を感じているところではありますが、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りながら、真摯にJAいわて花巻の運営に精励してまいり所存でありますのでよろしくごお願い申し上げます。

近年、わが国では社会経済のあらゆる分野で国際化、そして市場原理主義が進展しており、農業分野も例外ではありません。

加えて、改正農協法が昨年施行されましたが、戦後以来、国民への食糧供給や、農家組合員の生活向上、地域貢献を果たしながら築いてきたJA組織に国が土足で入り込んできた感を持つのは私ばかりではないと思います。

こうした環境の中にあって、今まさに協同組合運動、いわゆる相互扶助の精神のもとにJAの役割を果たさなければならないと痛感します。

現在JAは「創造的自己改革」に取り組んでおり、この目的は「農業者の所得増大・農業生産の拡大」「地域の活性化・協同活動の活性化」「結びつき強化・経営基盤強化」を目標とし、その実現のために購買、販売そして指導、利用の経済事業はもとより「金融、共済、生活、福祉」のくらしの活動があってこそなし得るものであり、総合事業としてのJA活動を通じて地域貢献を果たすことがJAの使命だという思いであります。

このためにも、職員ひとりひとりが「農家・組合員」のためという基本理念のもとに、高い倫理意識を醸成し、コンプライアンスを遵守することにより、組合員はもとより生産者と消費者・利用者の懸け橋として信頼されるJAいわて花巻を創造することを目指してまいりますので、組合員、役職員の皆様のご指導、ご協力を重ねてお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。

# 第19回 通常総代会



JAは5月26日、第19回通常総代会を行い、平成28年度の事業実績を報告するとともに、平成29年度の事業計画などを提案し、原案通り承認されました。また、今後のより良いJA運営に向けた質疑応答がなされ、会場は活気に溢れました。

今回の特集では、通常総代会の様子に加え、平成28年度の事業報告と、自己改革の内容を踏まえ、た上で取り組む平成29年度事業計画についての方向性をお伝えするとともに、役員改選で決定した新役員体制を紹介します。

## 初年度の成果と未来に向けた挑戦

キーワードは農業者の所得増大・農業生産の拡大、地域の活性化、結びつき強化

### 第19回通常総代会

JAは5月26日、通常総代会を花巻温泉「ホテル千秋閣」で開き、花巻・北上・西和賀・遠野の各地域の総代数994人のうち、951人（書面議決を含む）が出席しました。冒頭のあいさつで、高橋専太郎組合長は5月に発覚した不祥事について、組合員の皆様へ深くお詫びし、役員が一丸となって再発防止に向けて取り組んでいくことを誓いました。広域合併以来、財務改善に取り組んできた結果、経常利益9億83百万円、当期剰余金7億59百万円、自己資本比率14・09%となったことについて、組合員の皆様へ感謝を述べました。

また、地域の農業を守るJAの使命を果たすため、今後の具体的施策を示しながら、農家、農業、地域の活性化に向けて組合員の皆様と共に、役員全員が一丸となって全力を尽くしていく事を力強く伝えました。



今後の取り組みに向けて思いを伝える高橋組合長

### 原案どおり全7議案を承認

議事では、議長に金澤英治総代（花巻地域太田地区）と多田誠一総代（遠野地域宮守地区）を選任。平成29年度事業計画や役員選任についてなど、全7議案を審議し、全て原案通り承認されました。

### 自己改革の実践

自己改革の実践に関する決議が行われ、更なる自己改革の実践に邁進することを参加者全員で誓い合いました。また、最後には同日の総代会をもって退任する高橋専太郎組合長へ、農家組合員のくらしと営農活動の向上、農業の活性化など、JA運営に力を注ぎ続けてきたさまざまな革新と経緯に、議長を務めた両総代が謝辞を述べ、参加者全員で感謝の意を表しました。



役員選任の投票  
自己改革の実践に関する決議

### 決議事項

- 第1号議案 全国農業協同組合連合会が行う農業経営事業に関する同意について
- 第2号議案 平成28年度事業報告及び剰余金処分案の承認について
- 第3号議案 平成29年度事業計画の設定について
- 第4号議案 平成29年度経費の賦課及び徴収方法の決定について
- 第5号議案 平成29年度理事に支払う報酬額の決定について
- 第6号議案 平成29年度監事に支払う報酬額の決定について
- 第7号議案 役員選任について

第19回通常総代会と総代研修会（5月12日～19日、11会場で開催、579人参加）であがった主な質問とそれに対する回答をお知らせ致します。

- Q 政府の規制改革推進会議において、JA改革で信用事業を分離しJAを解体するような意見を言っているが、絶対にならないよう運動をお願いしたい。
- A 組合員・利用者のためのJAであり、総合事業を展開することは地域の農業とくらしを守るために今後も必要不可欠であるという事を役員全員で運動していきます。
- Q 平成29年度総合損益計画における当期末処分剰余金が前年度実績対比で73.5%としているが、どのような影響が考えられるのか。また、このような状況が将来的にも続くのか。
- A マイナス金利の長期化や自由貿易などの外圧による農業情勢の変化などを背景に、今後は事業総利益の減少が予想されます。管理費節減に努めながら事業を展開していきます。
- Q 関西方面の酒米用としての加工用「ひとめぼれ」の取扱状況と、平成29年度産「銀河のしずく」の作付け計画を知りたい。
- A 加工用米は酒造メーカーより高評価を得ており、平成28年度産の取扱数量4,105tに対し、平成29年度産は4,700t（前年比114%）の申し込みがあります。「銀河のしずく」については、管内で約300haの作付けを予定しており、今後も300ha前後を予定しています。需要の多い「ひとめぼれ」を考慮しながら進めていきます。
- Q 除草剤や肥料などの価格を下げしてほしい。
- A いもち防除剤「コラトップ」を全地域で品目統一したことにより、安値で仕入れる努力をしているほか、肥料については新たな愛農土シリーズを開発しており、販売単価を値下げし、平成30年度から供給を開始することとしています。
- Q 東日本大震災以来、営農アドバイザーに手厚く指導してもらった。昨年の台風10号でも農作物の被害を受けたが、営農アドバイザーの指導のお陰で出荷することが出来た。これからもお願いしたい。
- A 沿岸地域の営農アドバイザーは今年から2人配置するとともに、行政と連携して毎日指導出来る体制を構築しました。また、平成28年度から各地域の中核農家を「農の匠」として任命し、農業者の所得増大と農業生産の拡大を目的に営農指導体制を強化しています。今年は29人を任命し、より厚みのある営農指導体制を構築します。
- Q 協同組合としての理念を忘れないでほしい。
- A 協同組合の基本理念は「一人では解決できない共通の願い、悩みや課題を人々が助け合い、力をあわせて解決する」ことです。人と人との集まりの団体であり、助け合い精神こそが最も大切です。基本理念のもと、役員が一丸となって活動を展開していきます。また、政府・規制改革推進会議などにおいては、JA全中の一般社団法人化、全農の株式会社化、准組合の利用規制の導入など、いろいろと議論されていますが、JA自ら改革を進めていきます。

# JAいわて花巻 組合員表彰受賞者

## 組合員表彰

地域農業の振興と農業協同組合の発展に尽くし、その功績が極めて顕著であって、他の模範と認められた団体と個人を通常総代会の中で表彰しました。



農事組合法人

**胡四王みらい** (花巻市矢沢)

代表理事 中島 一

経営および技術の特徴

平成6年より前身の花巻市水稲種子生産組合で優良種子生産に取り組み、平成26年3月に法人を設立し自主運営による種子乾燥調製施設を建設。種苗センターとの出荷契約数を毎年達成し、JA管内のほか県内外の水稲種子の供給を担っています。転作部門では土地利用型作物の小麦、大豆、雑穀を生産しており、排水・除草対策やブロックローテーションにより反収・品質向上をはかっています。また、平成29年度からは育苗を受託し、育苗後の遊休ハウスを有効活用してミニトマトを栽培し、経営の安定化をはかっています。

功績および地域への影響

転作部門を担っていた胡四王生産組合を平成27年に統合し、農地中間管理事業を活用しながら地域の農地集積を進めた結果、集積率は62・2%となりました。また、胡四王地区に隣接する中山間地域の転作作業を受託し、担い手不足の解消と中山間地の景観維持に貢献しています。



**瀬川 栄一** (北上市二子町)

経営および技術の特徴

経営は二子さといも57aと大玉トマト26aが中心で、地域の生産法人に加入。二子さといもの連作障害対策として、生産法人と連携し、米・大豆・二子さといものほ場ローテーションを実施しています。大玉トマトは、平成14年より養液土耕栽培システムを導入し、作業効率を上げながら長期安定出荷に向けた経営の努力をしています。

功績および地域への影響

良質生産を行いながら、二子さといもの多収技術や良品安定のための培養苗の育成・普及活動に積極的に取り組み、平成24年には大手量販店や行政と連携し設立した二子さといも推進研究会において「フードアルチザン(食の匠)」の認定と活動に尽力したほか、平成27年から始めた地理的表示(GI)保護制度登録への推進活動においては、生産者の取りまとめや認証登録団体の設立に向けて大きく貢献しました。



平成20年～二子さといも生産組合副組合長／平成23年～二子さといも生産組合組合長、北上地域野菜部会さといも専門部長、北上地域野菜部会副部会長を2期6年

**南川 信一** (西和賀町沢内)

経営および技術の特徴

経営はリンドウ95・2a、水稲178・5a、ユリ栽培などのハウス8棟、西和賀オリジナルリンドウを中心とし、リンドウの育成はNPO法人西和賀農業振興センターから委託を受け、育成ほ場20aと育苗・育苗ハウス2棟で、管理と育苗指導を行っています。ユリの栽培は高品質を維持し、地域の模範として高い評価を受けています。

功績および地域への影響

花き生産や西和賀オリジナルリンドウの育成開発に尽力し、仲間作りや地域を越えた活動を展開し、岩手県の花き振興に貢献。育成は専門的な知識を發揮し、オリジナルリンドウの試験ほ場や素材の提供、交配技術や的確な助言と指導をし、西和賀オリジナルリンドウ「錦秋の風」が「2016いわてフラワーコンテスト」で最優秀賞「農林水産大臣賞」を受賞しました。



平成7年～西和賀花弁振興協議会代表／平成10年～27年西和賀花弁生産組合長／平成18年～23年全農いわて大型花弁経営者協議会会長／平成19年～NPO法人西和賀農業振興センター副理事長

## 平成28年度 事業報告

### 第3次中期経営計画初年度

平成28年度は、JAグループの事業・組織の根幹に関わる改正農協法が4月から施行されたことや、政府の規制改革会議の過剰介入による「農協改革に関する意見」の提示、米国新大統領によるTPPからの永久的離脱表明に伴う日米FTA交渉への動きが見られるなど、農業・JAを取り巻く環境は大きな転換期を迎え、極めて予断を許さない状況下で推移しました。また、異常気象による自然災害が発生する中、昨年8月の台風10号により、管内では遠野・沿岸地域の農作物に甚大な被害をもたらした農家経営に大きな打撃を受けました。

こうした状況の中、JAの自己改革取組事項を踏まえた第3次中期経営計画の初年度として、掲げた基本目標「農業者の所得増大・農業生産の拡大」「地域の活性化・協同活動の活性化」「結びつき強化・経営基盤強化」の達成に向け、役員が「一丸となってさまざまな施策に取り組みました。」

### 農業

#### 農業者の所得増大、 農業生産の拡大

消費者の信頼に応え、安全・安心な農畜産物を持続的・安定的に供給する地域農業を支え、組合員の農業所得確保・増大を支える姿を目指し、以下の7項目を重点に活動を展開しました。

販売事業では、米卸や実需者から指定される産地の確立を目指し、継続して米集荷200万袋運動に取り組んだほか、第二次アスパラガス倍増運動をはじめ、一億円販売園芸団地の推進や地域特性を生かした重点品目野菜などを核とした園芸生産の拡大に取り組みました。

販売品販売高合計は238億48百万円で、前年・計画以上の実績となりました。

1. 集落営農ビジョンの見直しによる地域コミュニティの活性化
2. 農業者の所得増大と農業生産の拡大
3. 新たな販売体制の構築
4. 地産地消
5. 利用施設の効率化と採算性の改善
6. 営農指導体制の構築
7. 生産資材コストの低減と農業生産の省力化・効率化

### くらし

#### 地域の活性化、 協同活動の活性化

総合事業を通じて地域の生活インフラ機能の一翼を担い、協同の力で豊かでくらしやすい地域社会の実現に貢献することを目指し、以下の2項目を重点に活動を展開しました。

1. くらしの活動を通じた地域コミュニティの活性化
2. 総合事業を通じた生活インフラ機能の発揮

### 経営組織

#### 結びつき強化、 経営基盤強化

組合員・地域住民との結びつきを深め、食と農を基軸として地域に根ざした信頼される協同組合として存立している姿を目指し、以下の2項目を重点に活動を展開しました。

1. 結びつき強化による協同活動の活性化
2. 財務基盤強化と経営健全化

### 取り組みの成果

～自己資本比率 14.09%～

経常利益は9億83百万円、計画対比113.9%、当期剰余金は7億59百万円、計画対比138.8%の実績となりました。自己資本比率は14.09%となりました。

農業・農政の先行きが不透明な状況の中、組合員各位のご理解により、こうした成果を上げることができました。



# 平成29年度 事業計画

## 自己改革を着実に実践

今年度はJA広域合併10年の節目を迎えます。今日まで積み上げてきた成果を生かし、組合員の営農・生活の安定と豊かでくらしやすい地域社会の実現に向け、相互扶助の精神のもと、JAがその役割を發揮するために全力を尽くして取り組みます。

平成29年度は、昨年度、第3次中期経営計画(平成28年度～平成30年度)で掲げた「農業者の所得増大・農業生産の拡大」「地域の活性化・協同活動の活性化」「結びつき強化・経営基盤強化」を基本目標として、地域に軸足を置いた組織運営で自己改革を着実に実践します。

## 平成30年度販売額250億円

安全・安心な農畜産物を持続的・安定的に供給するための基盤である地域農業を守り発展させるために、水田フル活用による複合経営を推進します。

また、一億円販売園芸団地や第二次アスパラガス作付倍増運動の継続

的な取り組みをはじめ、ブランド銘柄の確立に向けた「銀河のしずく」の作付面積の拡大を生産振興の柱とし、あわせて担い手経営体への経営支援を行います。

## 地域を支えるくらしの活動

信用・共済をはじめとした総合事業の展開で、生活インフラの一翼を担って地域を支えるとともに、工事着工しているデイサービスセンターやグループホームを開所し、高齢者福祉サービスの充実を図ります。

また、支店協同活動などを中心としたくらしの活動を通じ、地域コミュニティの維持・活性化に取り組みます。

## 結びつき・組織基盤の強化

組織・経営分野については、地域の歴史的伝統文化を背景とした支店行動計画の実践により、組合員・地域住民との結びつきを深めながら組織基盤の強化を図ります。

また、地域農業および協同組合への理解醸成を図るため幅広く情報を発信します。「地域から自慢されるJA」、職員が自慢できる「JA」を目指し、職員の育成と、財務基盤および内部統制の強化に継続して取り組みます。

# 営農事業

JAの自己改革取組事項を踏まえ「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を最重要目標として、継続的に取り組みます。

1. 地域生産力を生かした取り組み
2. 担い手の育成と農地の集積による営農振興
3. 販売・指導体制の構築
4. 生産コストの低減ならびに生産労働力の軽減
5. 安全・安心な農畜産物生産と消費者への発信
6. 鳥獣被害対策

## 営農振興 集落ビジョンの見直しと経営支援

- ・集落ビジョンの見直しによる地域コミュニティ維持への支援
- ・農用地の利用調整への支援や経営所得安定対策を推進、担い手経営体の要望に応える支援強化
- ・販売・指導体制の構築と情報提供サービスの展開
- ・安全・安心な農畜産物の提供と地産地消活動

## 米 穀 水田フル活用の構築

- ・「銀河のしずく」食味ランキング特A評価の獲得とブランド力の強化
- ・多収栽培の取り組みと複数年契約による農業者の所得増大、米集荷200万袋運動による消費地から求められる米産地の確立
- ・除草剤の散布条件・方法などの情報提供や技術指導の徹底、天候に左右されない稲作りとJA米の品質向上・維持に向けた投入資材の推進
- ・小麦・大豆・雑穀の反収向上

## 園 芸 一億円販売園芸団地の推進

- ・地域別重点品目の生産拡大・反収向上、高齢者や女性向け軽労力品目の普及拡大

## 畜 産 生産基盤体制の整備

- ・ブランド力の維持や生産販売の拡大
- ・園芸生産の拡大に向けた水田農業と園芸品目の複合経営による「一億円販売園芸団地」の推進
- ・「第二次アスパラガス作付倍増運動」と県内一の産地として品質・反収向上によるブランド化
- ・果樹産地構造改革計画に基づく果樹の優良品種・系統への改植による産地の維持・強化
- ・花き主要品目の各地域産地拡大実践プランによる生産拡大とカンパニウラの生産拡大
- ・原木椎茸の出荷制限解除と菌床椎茸の生産拡大

## 生産資材 コスト低減・労力軽減

- ・水稻肥料愛農シリーズの見直し
- ・各種奨励対策の継続とBB肥料大規模農家対策による生産者支援
- ・担い手サポート事業の活用によるコスト低減
- ・いもち防除剤の適期防除の啓蒙
- ・作業省力型農業、大型規格農業の普及拡大

## 産 直 事業拡大と生産・出荷体制の構築

- ・JA産直4店舗を核とした事業の拡大と周年出荷体制の構築、栽培面積の拡大と多産・多様な生産による組合員の所得増大
- ・支店・関係部署との連携による後継者育成と、高齢者会員に対応した集荷業務の構築
- ・食の提案と6次産業化事業の活性化

# 生活福祉事業

「食と農を基軸とした豊かでくらしやすい地域社会の実現」を目指し、くらしの活動の強化に向けて、子ども・女性・高齢者はもちろん組合員・地域住民の参加・参画を図り、魅力ある活動の提案と地域の活性化に取り組みます。また、高齢者支援の新たな展開に対応しながら安全・安心な福祉・介護のサービス提供と、健康づくりや生きがいづくりの支援活動に取り組みます。

1. くらしの活動を強化する魅力ある活動の提案
2. 安心してくらしを地域社会への貢献

# 信用事業

地域への貢献を通じて、これまで以上に組合員のくらしに寄り添い、「安全・安心かつ有利」の理念を基本として、利用者皆様の支持を獲得・拡大し、将来にわたって地域に根ざしたJAとして充実した金融サービスを提供します。

1. 農業メインバンク機能の強化
2. 生活メインバンク機能の強化
3. 資金運用
4. コンプライアンス態勢の徹底
5. 東日本大震災復興支援対策

# 共済事業

「組合員・利用者のために」をモットーに、対話を大切にしながら既加入者の全戸訪問を展開し、一人ひとりのライフプランやニーズにあわせて安心と満足、信頼関係を高めます。また、未加入者への取り組み強化と、「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提案に取り組みます。

1. 総合保障の提供と加入内容説明による保障点検の強化
2. 共済渉外活動を中心とした次世代層・ニューパー
3. トナー拡大と対応力強化
3. コンプライアンス態勢の徹底

# 企画管理

第3次中期経営計画で掲げた農業・くらし・経営・組織の分野の基本目標の達成に向け、引き続き自己改革の実践に邁進し、魅力増す農業・農村の実現に向けて取り組みます。また、支店を中心としたくらしの活動などの展開により、組合員の「我がJA」意識の向上と地域に信頼されるJAを目指します。

1. 支店を中心としたJA運営の実践
2. 協同活動の活性化と交流拡大
3. 地域農業および協同組合への理解醸成
4. 経営管理の徹底による財務基盤強化
5. 組合員の期待に応える職員の育成
6. 宅地等開発計画

# リスク管理

組合員および利用者のニーズに的確に応える事業を展開し、コンプライアンス・プログラムの実践と業務の有効性・効率性を重視したリスク管理および内部統制の充実を図ります。

1. コンプライアンス・プログラムの実践
2. リスク管理態勢の強化

# 監査

内部管理態勢の強化に取り組み、健全な経営と透明性の高い信頼される組織風土を作ります。

1. 内部監査の充実・強化
2. 監事監査・外部監査との連携強化
3. 内部統制の整備・充実



理事 本館 博子 (花巻市北せせらぎ)  
 理事 石川 清正 (北上市和賀町)  
 理事 安藤 勝隆 (花巻市中根子)  
 理事 菊池 範子 (遠野市松崎町)  
 理事 吉田 正志 (西和賀町沢内)  
 理事 菊池 春夫 (北上市滑田)



理事 松田 富雄 (北上市相去町)  
 理事 藤本 一廣 (花巻市北せせらぎ)  
 理事 菅野 寛 (花巻市東和町)  
 理事 佐々木 重吾 (大槌町大槌)  
 理事 太田代 良市 (遠野市宮守町)  
 理事 高橋 テツ (花巻市鍋倉)



理事 鎌田 春夫 (花巻市大畑)  
 理事 佐々木 久雄 (花巻市石鳥谷町)  
 理事 小森田 裕之 (花巻市石鳥谷町)  
 理事 川崎 勇一 (釜石市鶴住居町)



常勤監事 三浦 正寿 (盛岡市向中野)  
 代表監事 佐々木 幸雄 (花巻市東和町)

監事



員外監事 柳谷 敬志 (盛岡市西見前)  
 監事 照井 重光 (西和賀町沢内)  
 監事 久保 公正 (釜石市唐丹町)  
 監事 高橋 清純 (北上市和賀町)



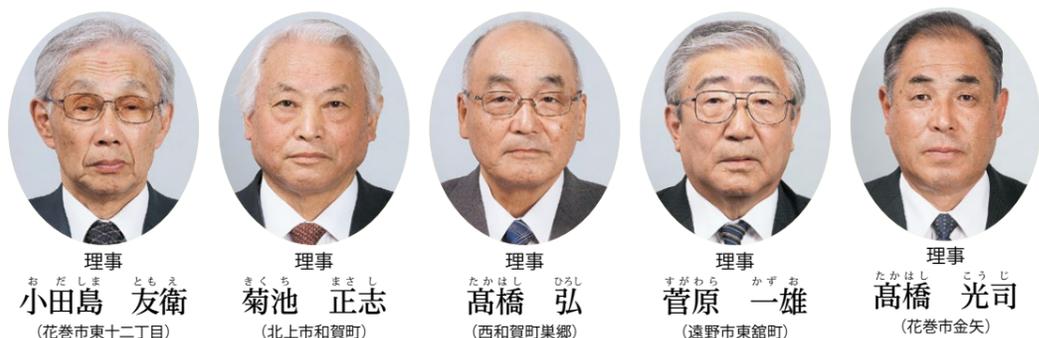
代表理事副組合長 高橋 勉 (花巻市鍋倉)  
 代表理事組合長 阿部 勝昭 (花巻市葛)



常務理事(営農・生活福祉担当) 佐藤 方夫 (花巻市太田)  
 常務理事(金融・共済担当) 長原 典夫 (花巻市東和町)  
 代表理事専務 島津 秀三郎 (北上市口内町)



理事 菊池 正明 (遠野市青笹町)  
 理事 藤舘 政義 (花巻市大迫町)  
 理事 熊谷 正克 (花巻市石鳥谷町)  
 理事 伊藤 清孝 (花巻市桜町)  
 理事 新田 実 (花巻市東和町)



理事 小田島 友衛 (花巻市東十二丁目)  
 理事 菊池 正志 (北上市和賀町)  
 理事 高橋 弘 (西和賀町集郷)  
 理事 菅原 一雄 (遠野市東館町)  
 理事 高橋 光司 (花巻市金矢)



理事 玉山 孝光 (花巻市石鳥谷町)  
 理事 八重樫 京子 (北上市二子町)  
 理事 高橋 洋志 (北上市飯豊)  
 理事 菅原 一彦 (北上市臥牛)  
 理事 加藤 勝信 (北上市和賀町)

理事

新役員紹介



通常総代会において理事36人、監事6人が選任されました。  
 新たに代表理事組合長に阿部勝昭が就任し、新体制でのスタートとなります。

役員の任期は3年間です。

### 花巻市の農業の魅力を伝える グリーン・ツーリズムで東京都の中学生を受け入れ



一つ一つ丁寧にリンゴの摘花作業を行う生徒たち

J Aや花巻市などで組織する「なまきグリーン・ツーリズム推進協議会」は5月11、12日、東京都大田区立大森第六中学校の3年生135人を受け入れました。

修学旅行の一環で訪れ、生徒たちは農家36戸に分かれて田植えや野菜の定植、農家民泊を体験。花巻市太田の藤原恵子さん(68)宅では12日、4人がリンゴの摘花を体験し、藤原さんと交流を深めながら作業を行いました。

荒川真穂さんは「コツコツと作業を続ける農家は素晴らしいと感じた」と話し、藤原さんは「花巻市の農作物を好きになり、いつまでも覚えてほしい」と期待を寄せました。

### いのち・農業・食べ物の大切さを伝える 平成29年度ちやぐりんスクールがスタート

J Aが毎年行っている食農教育事業「ちやぐりんスクール」が5月13日、今年度の活動をスタートしました。

今年は「6つのしよくを感じよう(食・植・触・色・飾・職)」をテーマに、学年別にプログラムを設定。小学1〜2年生は親子体験教室とし、大豆の栽培やみそ・豆腐作りを中心に保護者と共に体験し、3〜4年生は田んぼ学習と畑作業、5〜6年生は調理実習を中心に学習します。年齢に沿った内容とするこ

とで、食と農についてより深く学んでもらおうと企画しています。

プログラムは、来年1月までの各通年カリキュラムで、計93人がスクールを通して「いのち・農業・食べ物」の大切さや「ふるさと」に対する誇りを肌で感じ、学びます。

初回となった13日は、各コースに分かれ、さまざまなしよくを体験。大豆の種まきやジャガイモの種イモの植え付け、田植え機を使った田植えの見学のほか、米の研ぎ方や包丁の使い方や作



1.一年間、元気に楽しく学びます 2.種イモを植える児童 3.協力してペットボトルプランターを作る親子

野菜などを栽培する「ペットボトルプランター」作り挑戦。J A生活福祉活動リーダーの千葉一甲さんが講師を務め、作り方や管理方法などを説明しました。児童たちは、一つ一つ丁寧に作業を進めてオリジナルのプランターを作り、ミニトマトを植えました。

今年も、スタッフにはJ A職員のほか、青年部員や女性部員、地域住民、地元高校生などが参加しています。J Aと地域が丸となり運営し、農業や地元農畜産物の魅力を伝える、農業の未来を担う子どもたちを育てていきます。

### 農作業を通じて食農教育 各地域で小学生が田植え体験

J A管内の各地域の小学校は5月、田植え体験を行いました。J Aは水田の持ち主と共に指導役として参加し、児童と汗を流しました。児童たちは丁寧に苗を植え付け、食と農の大切さを身を持って感じました。

5月25日には、遠野市立上郷小学校の5年生12人が同市上郷町にある菊池正則さんの水田8aに手植えで作業を行いました。少し肌寒い天気にもかかわらず、水田に裸足で入った児童たちは、足を取られながらも「ヒメノモチ」を丁寧に植え付けました。

佐々木智史くんは「泥だらけになっただけ楽しかった。収穫するのが楽しみ」と話しました。



慣れない田んぼの感触に歓声を上げる児童たち

### 花巻市内10の産直店でスタンプラリー JAの母ちゃんハウスだあすこやすぎの樹も参加



「スタンプラリーに参加してもらいたい」と話す八重樫正基だあすこ店長

花巻市産地直売所連絡協議会は、市内10カ所の産直店で7月10日までスタンプラリーを行っています。

加盟店で税込500円以上の買い物をするスタンプが押せ、全店分を集めると500円分、6カ所で300円分のお買物券がもらえます。特産物が抽選で当たるチャンスもあります。

葛巻繁幸産直課長は「ラリーをきっかけに多くのお客様に来店してもらいたい。生産者は安全安心で新鮮な農作物や加工品を出荷している。他のスーパーマーケットと違う産直の素晴らしさや、地物の良さを感じて貰いたい」とラリーへの期待を込めました。

詳細は同会事務局 ☎0198-481-2760

### 田んぼでハンドボール!笑顔輝くはつらつプレー! 田んぼで「泥んこハンドボール」と「田植え体験」

花巻市ハンドボール協会は、5月28日、組合員の谷川富夫さんの水田花巻市胡四王で「泥んこハンドボール」を開きました。

地域の子ども約30人が参加し、泥だらけになりながら水田を駆け回り、白熱プレーを展開。阿部流李斗くん(5)は「とっても楽しかった。田んぼは気持ちいい」と微笑みました。競技交流後の水田では、参加者全員で「ひとめぼれ」の苗の手植え体験を行いました。

同協会顧問も務める谷川さんは「子どもたちが田植えや農業に触れるきっかけを作れた。初の試みだったが皆が楽しんでくれた。競技の知名度向上にも繋げたい」と話しました。



田んぼのコートで、ゴールめがけてシュートを放つ参加者

**園芸**

**農の匠が実演指導! 長年の経験で培った技術と知識、現場の技を伝授**

洋ナシとリンゴの「農の匠」伊藤俊美さんのは場（花巻市石鳥谷）で5月15日、洋ナシの栽培指導会を行いました。伊藤さんは味の濃い洋ナシの作り方やその理屈を、摘果の実技を加えながら丁寧に説明し、果実への養分の行き渡らせ方や品種ごとの栽培方法など、さまざまな技術と知識を伝授。参加者は伊藤さんが実演する作業の手に集中しながら、食い入るように話を聞きました。



農の匠・伊藤俊美さん

地域風土や気候、品種や消費者ニーズによって栽培方法は変わり、マニュアル通りではより良い品質が期待出来ない年もあります。これまでの経験を生かし、栽培農家の所得向上や産地確立に自分の知識が役立てればと思っています。

地域全体の品質が思わしくない年でも伊藤さんは良品を出荷し素晴らしい技術を持っています。匠の技で地域全体の洋ナシ栽培を盛り上げたいと思い、各栽培ステーションごとに指導会を企画しています。



営農推進部園芸販売課 藤原賢調査役

**園芸**

**SL銀河で花巻ブルーシリーズをPR**

JAいわて花巻は、管内で生産する青色系統の花を「花巻ブルー」と名付けPRをしています。JR東日本が運行する青色車体の「SL銀河」の運行期間中は毎月、乗客に花巻ブルーをプレゼントしています。SL銀河の乗客に花巻ブルーシリーズの花を毎月プレゼントする企画は今年で3年目で、毎年乗客から喜ばれ好評を得ています。今シーズンも行いPRを強化していきます。5月14日の母の日には、JA職員がSL銀河に乗り込み、乗客に花巻ブルーのオリジナルコースターを配りながら、シリーズの花を紹介。乗車した母親たちに、母の日に「クレマチス」の花をプレゼントしました。



花を受けとった垂井友子さん(35)は「思わぬ母の日のプレゼントに驚いた。花が好きなのでとても嬉しい。大切に育てます。花巻ブルーシリーズにも興味が出た」と笑顔を見せました。

**人が集まる場所に花巻ブルーシリーズを!**

管内では、春はクレマチス、初夏はカンパニュラ、秋は鉢植リンドウなど年間を通してさまざまな青色系統の花を生産します。地域住民や観光客などたくさんの人々に知ってもらおうと、母ちゃんハウスだあすこに特設コーナーを設置しているほか、花巻温泉(株)や公共施設など、人が多く集まる場所に季節に合ったブルーシリーズを設置しています。



JR花巻駅



花巻温泉(株)

**グリーンセンターの定休日**

6月・7月の定休日と営業時間は次の通りです。ご確認の上ご来店ください。

	6月	7月
花巻	14日(水)/平日...8:30~17:30/土・日・祝日...8:30~17:00	無休 平日...8:30~17:30/土・日・祝日...8:30~17:00
石鳥谷	10日(土)/8:00~17:30	8日(土)/8:00~17:30
大迫	土曜日・日曜日・祝日/8:30~17:00	土曜日・日曜日・祝日/8:30~17:00
東和	17日(土)/8:30~18:00	15日(土)/8:30~18:00
北上	25日(日)/平日...8:30~18:00/土・日・祝日...8:30~17:00	23日(日)/平日...8:30~18:00/土・日・祝日...8:30~17:00
西和賀	18日(日)/平日...8:30~18:00/土・日・祝日...8:30~17:00	16日(日)/平日...8:30~18:00/土・日・祝日...8:30~17:00
遠野	14日(水)/8:30~18:00	12日(水)/8:30~18:00

※定休日と営業時間はそれぞれの店舗によって異なりますのでご確認ください。

●お問い合わせ/営農推進部生産資材課 ☎0198-22-6192 または、最寄りのグリーンセンターまで

**園芸**

**県内ナンバー1のアスパラガス産地をPR**

◆**出発式を開催**  
アスパラガスの栽培面積、販売額ともに県内トップの当JAは5月1日、アスパラガスの出発式をJA西南アスパラガス選果場（北上市和賀町）で開きました。生産者やJA、市場や行政などの関係機関約80人が見守る中、テープカットでアスパラガスの出発を祝い、270kgが積み込まれた第1便のトラックを参加者たちで盛大に見送りました。野菜部会の佐藤祥行部会長は、「生産者の努力が実り販売額が初めて2億を超えた。目標である作付面積180haに向けて、関係機関一丸となって頑張ろう」と力強く語りました。出発式では、アスパラガス料理の試食会も行い、ピクルスやおにぎり、ポタージュスープやサラダなど、アスパラガスを使用した創作料理がズラリと並び、新鮮さとおいしさをアピールしました。



◆**アスパラガスの生育状況**  
今年は、ここ数年の春と比べると気温が低く、雪解けが遅く萌芽が遅れました。ほ場の適度な水分量や昼夜の寒暖差が大きいことで甘みが増えています。出荷のピークは5月中旬以降で、9月まで続きます。

**セブン-イレブン商品にアスパラガスを供給**



JAはセブン-イレブンの期間限定商品、「北上市産アスパラのペペロンチーノ」と「手巻おにぎりアスパラベーコンマヨネーズ（北上市産アスパラ使用）」の食材として、アスパラガスを供給しています。旬の味わいを生かすため加熱は短時間にして、みずみずしさや歯切れの良さを出しています。同社との連携は2年目で、昨年のおにぎりに加え今年にはパスタを新発売したことから、供給量は約800kg増の1.2tを見込みます。

※パスタは北東北3県と宮城県の一部合わせて約370店舗で5月24日から430円、おにぎりは北東北3県約270店舗で5月中旬から130円で発売しており、いずれも4週間の期間限定での発売を予定しています。（価格は税込みです）

**米穀**

**銀河のしずくwithのん 田植え交流会**

JA全農いわての「純情産地いわて宣伝本部長」を務める女優ののんさんによる田植え体験イベントを5月20日、農事組合法人なべくらのほ場（花巻市鍋倉）で行いました。全農やJA、法人構成員や地域住民など約60人が見守る中、「宣伝本部長として全国に向けてPRします」と宣言し、同法人の藤井智利さんに指導を受けながら田植えをしました。銀河のしずくは今年、県内800haで作付けし、JA管内では約300ha（昨年の4倍）で栽培します。JAいわて花巻版の栽培マニュアルに沿って、高品質で良食味米を生産し今年も食味ランキングの特A評価の獲得に向けて取り組みます。



**畜産**

**放牧始まる 牛ものびのび**



JA管内では4月から、五輪牧野（花巻市東和町）、宇瀬水牧野（花巻市大迫町）、寺沢牧場（遠野市宮守町）、荒川牧場（遠野市附馬牛町）などの各地域の牧野で放牧が始まりました。5月16日には水上牧野（北上市和賀町）で開牧式が行われ、JAや北上市など30人が参加。畜霊塔の前で拝礼し、放牧の安全と良質な牛の生産を祈願しました。島津秀三郎専務は「広々とした環境の中で良い牛に育ってほしい。また、めまぐるしい畜産情勢だが、JA全農と共に畜産農家を守っていく」と力強くあいさつしました。

**放牧野に預けるメリット**

牛：開放的な屋外で、豊富な運動量と常に満足して牧草を食べることで、ストレスの軽減や肥満対策になります。  
農家：飼育や牛舎の管理の軽減で、農繁期の他作業に集中することができます。

# 旬の産直大百科

## 母ちゃんハウスだあすこ&すぎの樹

### お徳がいっぱい! 創業祭のお知らせ

日頃のご愛顧に感謝を込めて、農産物直売所「母ちゃんハウスだあすこ」と、はなまき特産物直売所「すぎの樹」では7月に創業祭を開催します。安全安心で新鮮なお買い得品が盛りだくさんですので、お誘い合わせの上、ぜひご来店ください。

### 母ちゃんハウスだあすこ 20周年創業祭

**日時** 7月8日(土)・9日(日) 午前9時開店

**場所** 花巻市野田335-2

**内容** 産地間交流をしているJA紀の里やJAおきなわなど、全国のJAファーマーズマーケットが集合!各地の特産品を販売します。また、お楽しみ抽選会や各種お振る舞いなどイベントが盛りだくさんです!

**お問い合わせ** 母ちゃんハウスだあすこ ☎0198-24-2914

### すぎの樹 21周年創業祭

**日時** 7月23日(日) 午前9時開店

**場所** 花巻市太田42-227-2

**内容** 毎年恒例のもちまきやお買い上げ抽選会を実施!さらに、産地間交流JAの特産品の販売や、趣向を凝らしたお楽しみ企画をご用意しております。

**お問い合わせ** すぎの樹 ☎0198-28-2209

## ぼらーの 広場

ぼらーの広場は、読者の皆様との交流の場です。皆様からテーマにちなんだお便りを募集し、紹介しています。投稿を頂いた方の中から抽選で素敵なJA商品が当たります!

### 今月のテーマ 雨の日の過ごし方

私の雨の日の過ごし方は、雨の音が苦手なので、イヤホンを付けて、大音量で音楽を聞いて過ごしています。(花巻市・ざっしー)	雨の日は、古くなった茶葉を使って台所に茶香炉を焚きます。その中で家事をこなすのもお気に入りです。(遠野市・赤かっば)	雨の日は温泉もいいけど、好きな曲を聞きながら「断捨離」に没頭し、心と部屋をスッキリさせたいです。(花巻市・時の旅人)
カップケーキやシュークリームなどお菓子を作ります。雨の滴を見ながらゆったりと時間が流れ、リフレッシュできます。(花巻市・にゃんこ)	私の雨の日の過ごし方は、家族のために惣菜を作ったり、農作業に使う腕抜きを作ったり、家事仕事をします。(北上市・ネコ大好き)	ミッキーの長靴が好きな娘と外に出ると、体の雨粒を「パッパッ」と言って払ってくれるので、雨の日も楽しくなります。(花巻市・トムム)

**来月のテーマ(8月号掲載)「夏祭り」 応募締切/7月10日(月) 消印有効**

テーマにちなんだエピソードを募集します。夏祭りの思い出や地域の変った祭りなどどんどんお寄せください!

応募方法: ①テーマにちなんだお話②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③ペンネーム④JAや広報誌に関するご意見・ご感想を記入の上、はがきまたはメールにてご応募ください。

※投稿頂いた中から内容を誌面に掲載させていただきます。ペンネームが無い場合はイニシャルでの掲載になります。

●はがき: 〒025-8504 花巻市野田 316-1 JAいわて花巻企画広報課「ぼらーの広場」宛  
●メール: polano@jahanamaki.or.jp ●当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

**お便りを投稿頂いた方の中から抽選で5名様にJA農産物直売所商品やJA商品をプレゼント!**

## かがやく 女性部

### 苗を届けて40年。 土に触れる機会を 女性部東和支部「サツマイモの苗配布事業」

女性部東和支部は5月23日、花巻市東和町内の保育園や小・中学校などの教育機関にサツマイモ苗の配布を行いました。

食育活動の一環として始まった活動は「地域に貢献したい」「小さな頃から土に触れる機会を作ってあげたい」という部員たちの思いで長期にわたって続けられ、40年目を迎えた今年は、紅あずまの苗



苗を振り分ける女性部員達

1600本を準備。部員たち10人が東和町支店に集まり、配布しやすいように苗を各人数分に小分け作業を行いました。

同日には小田島邦子支部長が東和小学校を訪問し、苗1200本を贈呈。代表して児童会長が受け取りました。小田島支部長は「作業を通して食と農の大切さを分かってもらえたらうれしい。立派に大きくなったサツマイモが楽しみ」と話しました。



苗を贈った小田島支部長(左)と、受け取った児童会長(右)

収穫したサツマイモは同町で毎年10月中旬に開催している「とうわ産業まつり」のコンクールに出品し、「掘るのが大変だったで賞」などのユニークな賞を支部より授与する予定です。

## 心を耕し未来へ 食と農の掲示板

### 次世代へ食育教育 ~花巻まんまーず~



園児と一緒に食材を切るまんまーずの会員 「おいしい」と笑顔がこぼれます

JAの食育リーダー「花巻まんまーず」は5月26日、今年度初の活動となる食育体験出前授業を花巻たかき幼稚園(花巻市高木)で行いました。

藤根悦子さんを中心に会員4人が指導にあたり、5歳児の園児31人が豆腐ハンバーグや野菜スープ、おにぎり2種のほか、ちくわにブロッコリーを挿した「小さな森」作りに挑戦しました。おにぎりには花巻産の古代米を使用するなど地産地消にもこだわっています。

園児たちは包丁を使い、同会員に「包丁を使うときは、左手を猫の手にしてね」と教わりながら、野菜スー

プに入れるダイコンやニンジン丁寧に切りました。おにぎりを握ったり、ハンバーグをこねるときには「おいしくな一れ」と話しかけながら、楽しく調理しました。

調理後は、昼食として自分たちが作った料理を食べました。園児たちは「自分で作るとおいしい!おかわり!」と口をもぐもぐ。笑顔が溢れた楽しい昼食になり、野菜スープはなくなるほどの人気でした。

「花巻まんまーず」は、JA管内の女性農業者で構成しており、就学前の子どもたちを中心に料理体験を通じて食育活動を続けています。

燦爛と輝く女性を目指しませんか?

# JA女性大学「燦爛セミナー」参加者募集中!

JAでは、教育や福祉、暮らしに関わる学習を通して、燦爛と輝き元気で前向きに過ごす女性を目指すセミナーを開催します。新しい仲間たちと出会い、楽しく学び、あなたも燦爛と輝いてみませんか?

**対象者** JA管内在住の女性

**場所** **花巻地域**：JA総合営農指導拠点センター（花巻市野田335-2）ほか  
**北上・西和賀地域**：江釣子支店（北上市上江釣子17-210-1）ほか  
**遠野地域**：JA担い手活動センター（遠野市松崎町白岩25-16-1）ほか

**募集人数** **花巻地域**：40人 **北上・西和賀地域**：30人 **遠野地域**：30人

**受講料** **花巻地域**：2,500円 **北上・西和賀地域**：2,000円 **遠野地域**：2,000円

※各回で開催する講習会の材料代、研修バス代、食事代などは別途負担となります  
 ※受講料は開校式当日に申し受けます  
 ※途中からの受講も受け付けますが、受講料は同額です



## カリキュラム

	内 容	花巻地域	北上・西和賀地域	遠野地域
第1回	開校式 JA役員講話 ネクタイネックレス作り 講師：菊池貴美子氏（北上市）	8月3日（木） 9時30分～ JA総合営農指導拠点センター	8月1日（火） 9時30分～ 江釣子支店（2階会議室）	8月2日（水） 9時30分～ JA担い手活動センター
第2回	七宝焼でアクセサリー作り 講師：照井とも子氏（北上市） ※材料代別途負担	9月5日（火） 9時30分～12時 JA総合営農指導拠点センター	9月4日（月） 10時～12時 江釣子支店（2階会議室）	9月7日（木） 10時～12時 JA担い手活動センター
第3回	料理教室「H28年度北上地域地産地消料理コンクール入賞作品を学ぶ」 講師：菊地近子氏（北上市） ※材料代別途負担	10月4日（水） 9時30分～ JA本店加工室 ※花巻地域のみ実施		
第4回	座禅体験旅行 紫波町常光寺（予定） ※バス代・体験料など別途負担	11月9日（木） JA総合営農指導拠点センター前出発	11月8日（水） 北上統括部出発	11月7日（火） 遠野統括部出発
第5回	未来にのこす「わたしノート」作り 講師：家の光協会 平間聡氏 日本の食を学ぼう 講師：各会場講師 閉校式 ※食事代別途負担	12月7日（木） 石鳥谷支店 講師：日本料理新亀家（懐石料理）	12月5日（火） ホテルシティプラザ北上 講師：ホテルシティプラザ北上レストラン課（日本料理）	12月6日（水） サンパークやなぎ 講師：サンパークやなぎ（会席料理）

**お申込み** 7月10日（月）までに下記の各地域生活ふれあい課に電話にてお申込みください。

※締切前でも定員となり次第、申込みを終了致します  
 ※単講座のみのお申込みはできませんので、ご了承願います  
 ※開催案内のチラシ配布はありません。広報誌のみのお知らせとなります

**お問い合わせ** **花巻地域**：生活福祉部生活ふれあい課 ☎0198-45-1213  
**北上・西和賀地域**：北上統括部生活ふれあい課 ☎0197-71-1340  
 西和賀統括センター管理課 ☎0197-85-3301  
**遠野地域**：遠野統括部生活ふれあい課 ☎0198-62-6604

## 豊かなくらしを実現! ぐらしの活動大会

「つながる・広がる・願いがかなう」共感の輪」と題し、ぐらしの活動の実践発表や女性部活動展示・販売などを行います。

■日時 7月1日（土）午前10時30分開始  
 ■場所 JA総合営農指導拠点センター（花巻市野田335-2）  
 ■参加対象者 組合員・地域住民  
 ■参加費・申込締め切り ひとり500円（昼食代として）6月16日（金）締め切り  
 ●お問い合わせ・お申込み 最寄りの支店管理課 または企画管理部企画広報課まで ☎0198-22-6288

## わいわい子育てフリースペース さらさら七夕かざりを作ろう!

■日時 6月23日（金）午前10時～正午  
 ■参加費 300円  
 ■場所 JA野田神社「洗心館」（JA本店北側隣り）  
 ●お問い合わせ 生活福祉部生活ふれあい課 ☎0198-45-1213

## クールビズ実施中

JAでは6月1日～9月30日の期間中クールビズを行っています。国が推奨する地球温暖化防止行動に呼応して、冷房は28度に設定し、ノーネクタイやノージャケットなどの軽装により電力の節約を図ります。期間中、無作法とは存じますが、ご了承くださいませようようお願い申し上げます。

## 理事職務の執行状況に関する 情報提供について

当JAの監事は、経営の健全な発展に資するため、理事の職務の執行状況に関する情報の提供を求めています。

当JA理事のJA経営に関する気になる行為があるときは、電話または封書で下記へご連絡くださるようお願い致します。

■連絡先  
 【住所】〒025-8504 花巻市野田316番地1  
 【電話番号】0198-23-3333  
 【受付監事】常勤監事 三浦正寿

※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷の類は受付いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

## ローン相談 日曜日でも承ります!!

ローンセンターは各種ローンの相談を承っています。家の新築や増改築、車の購入、教育資金など、資金借り入れの相談や検討をしている方はお気軽にご来店ください。専門スタッフが丁寧に対応致します。

■営業時間  
 月～金曜日…午前9時～午後6時  
 日曜日…午前9時～午後4時  
 ※定休日は土曜日と祭休日  
 ●お問い合わせ 金融推進部ローンセンター（農産物直売所「母ちゃんハウス だあすこ」西側隣り） ☎0198-22-6277

2日間

# 夏休みこども村in宮古

旅行センターからのお知らせ

旅行センターでは小学4～6年生を対象とした「夏休みこども村in宮古2日間」を募集しています。宮古地区でシーカヤックやゴムボートの乗船体験を行うほか、「グリーンピア三陸みやこ」に宿泊し、一周180mの流れるプールもお楽しみいただけます。また、田老地区での防災体験や浄土ヶ浜の遊覧船乗船など、充実した2日間をお過ごしいただけるコースです。ぜひ、子どもたちの夏休み最高の思い出を宮古で作ってみませんか?

**旅行日程** 平成29年8月3日（木）～4日（金）

**旅行代金** 29,800円（子供お一人様）

お問い合わせ

JAいわて花巻旅行センター（企画管理部総務課内）担当 川村・藤原 ☎0198-23-3333（代表）内線418 ☎0198-29-4036（直通）

- 理事会だより

次の事項について審議され、全議案議決されました。

第3回理事会 開催日…5月2日（火）

■決議事項

  - 第1号議案 平成28年度事業報告の承認について
  - 第2号議案 平成28年度決算及び剰余金処分案の承認について
  - 第3号議案 平成29年度事業計画の修正について
  - 第4号議案 平成19年度常総代会提出議案の決定について
  - 第5号議案 青年・女性参与設置規程の廃止について
  - 第6号議案 固定資産（谷内CE湿式集塵装置更新）の取得について
  - 第7号議案 固定資産（小山田CE各種操作盤システム更新）の取得について
  - 第8号議案 理事への貸付（利益相反取引）の承認について

第4回理事会 開催日…5月26日（金）

■決議事項

  - 第1号議案 組合長理事の選任について
  - 第2号議案 常勤理事の選任について
  - 第3号議案 代表理事の選任について
  - 第4号議案 理事代理順位の決定について
  - 第5号議案 理事専門委員会規程の改正について

● 監事会だより

次の事項について協議されました。

第3回監事会 開催日…5月2日（火）

■協議事項

  - (1) 全国中央会（JA全国監査機構）の監査の方法及び結果の相当性について
  - (2) 平成28年度決算監査報告書の作成について
  - (3) 総代会提出監査報告書の作成について

第4回監事会 開催日…5月26日（金）

■協議事項

  - (1) 代表監事の互選について
  - (2) 常勤監事の互選について
  - (3) 監事代理順位の決定について
  - (4) 特定監事の決定について

## 組合員・利用者の皆様へのお願い

日頃は、当JAの事業をご利用いただき厚くお礼申し上げます。

当JAは、皆様のご自宅への訪問活動を積極的に行うなど、地域との繋がりを重視した取り組みを展開しております。その際には、是非お気軽にお声をかけていただければ幸いです。

また、当JAは、訪問先において現金などをお預かりする際には、以下のような領収書(受取書)を発行する事となっております。組合員・利用者の皆様からの信頼にお応えするためにも、必ず受け取っていただきますよう、改めてお願いするものであります。

### ◎信用事業

皆様より、定期積金掛金をお預かりする際に使用する受取書となっております。

### ◎共済事業

皆様より、共済掛金をお預かりする際に使用する領収書となっております。

### ◎信用・共済事業共通

皆様より、現金や通帳などをお預かりする際に使用する受取書となっております。

なお、お預かりした通帳などをお返す際には必要となりますので大切に保管願います。

### ◎経済事業・その他事業

皆様より各種料金などについてお預かりする際に使用する領収書となっております。

お問い合わせは、本店リスク管理室(☎0198-29-4034)までご連絡願います。

※「役員室より」はお休みです。

## 女性農業者を応援「JAいわて花巻女性農業者支援制度」 申し込み期間を延長します！

JAでは、女性農業者の皆さんが意欲を持って農業生産に取り組むことができるよう、支援事業を実施しています。申請期間を延長しましたので、申請のうえご活用ください。

支援事業	助成内容
農業経営改善支援事業	農業経営改善に取り組む場合には、総事業費の10%(上限50,000円)を当JAが助成します。 ※補助事業を活用する場合は支援の対象外です。また、農業資金(アグリマイティー資金など)の活用を支援します。
先進地研修支援事業	新たな農業経営方式や技術などを導入しようと先進地事例などの研修をする場合、経費の2分の1(上限10,000円/年)を助成します。 ※部会など他組織で企画した研修の経費については支援の対象外です。
グループ活動支援事業	女性農業者が中心となって、農業経営に関する研究などのグループ活動を新たに起こす場合に、立ち上げ経費として初年度に30,000円を助成します。

### 1. 支援対象者 ※女性に限りです

- ・農業に従事し、今後も農業経営の発展を目指して農業で頑張っていくとする方。
- ・6次産業化など(農産物加工など)の多角経営を行っている方または目指す方。
- ・当JAの生産部会または関係組織に入会し、積極的に活動している方。
- ・新規就農者。
- ・その他代表理事組合長が認めた方。

制度活用には書類審査があります

### 2. 支援申請の手続き

支援を受けようとする方は、申請書に所定の項目を記載のうえ、各地域営農センター営農振興課または各支店窓口へ提出してください。  
※申請書はJAいわて花巻公式ホームページの「あぐり情報」からダウンロードすることができます。  
<JAいわて花巻公式ホームページURL> <http://www.jahanamaki.or.jp/>

### 3. 申請締め切り：6月末

#### ◎お問合わせ

営農推進部営農振興課  
北上地域営農センター営農振興課

☎0198-23-0985  
☎0197-71-1330

西和賀地域営農センター営農振興課  
遠野地域営農センター営農振興課

☎0197-85-3301  
☎0198-62-9585



# JAバンク岩手 サマーキャンペーン2017

平成29年6月1日(木)▶8月31日(木)

**定期貯金(適用金利)**

定期貯金の新規預入 10万円以上

定期貯金の新規預入 10万円以上

定期積金の新規契約 20万円以上

この優待もれなく！

必須金利 **+0.1%** 上乘せ!

さらに **loft × CHORIS / ちよリス フロストボーネ プレゼント!**

マチ付きなので 太めの小箱も入ります

当JA 4,700名様

定期貯金・定期積金の新規ご契約と同時に /

JAカード 公共料金 JAネットバンク

上記のうち1つ以上新規お申し込みで!

夏に嬉しいグッズ最大3点プレゼント!

1つのお申し込みにつき以下より1点お選びいただけます。

**A** ちよリス クーラーバッグ(保冷バッグ)& アイスバック(保冷箱)

500冊が6本入ります

当JA 500名様

**B** 今治ブランドフェイスタオル(ヘムちよきんぎょ柄)

優しい肌触り、吸水力、優れた電気洗濯乾燥機能のフェイスタオル。ヘム(裾)にちよきんぎょのシルエットをマーク、オレンジ・グリーン・パープルの柄が1つ。

当JA 157名様

**C** かみせっけん 50枚入り

夏になるにつれても手洗いで必要なつねにぴかぴか、ハイキングなどの外出時にも便利なポケットサイズ、3種類の柄が1つ。

当JA 157名様

※詳しくは、お近くのJAバンク窓口までお問い合わせください。

ふうしゅてんけい

# 風趣点景

管内四季だより⑮



## 「千葉家と水車」

遠野市綾織町(千葉家)

写真・文/高沢 翔(西和賀町沢内)

西和賀町をメインに風景写真を撮っている写真家。

ホームページ「高沢翔写真館」<http://shou.eek.jp>

撮影データ(デジタルカメラ) 2016年5月下旬  
ISO感度:200 絞り:f16 露出補正:0.0

南部曲り家で知られる千葉家。平成二十八年四月から大修理のため現在は休館中です。私が訪れた時は人影もなく寂しい限りでしたが、道をひとつ隔てた向かいからの眺めは感動的でした。

昔懐かしい水車が手前にあり、千葉家と一体となって溶けこんでいる。何という素晴らしい情景でしょう。

この情景を日々見て暮らしたであろう昔の人々に思いを馳せながら、シャッターを切りました。

**春**の若苗、夏の青田、秋の黄金色。幼き頃から常に見てきた田んぼだ。日常に紛れているこの風景を改めて美しいと感じた、ある日の朝。私は田んぼに向けてカメラを構えていた。苗が太陽にキラキラと輝く。その美しさに思わず息を呑む。そして朝日に願う。このかけがえのない風景をいつまでも。「佐藤」

**広**報活動は、地域に散らばっている無数の点を繋ぎ、面を作る。でも現実に変化を起こせなければ、それはただの自己満足。高橋専太郎前組合長は常に未来を見据え、百姓の代表だ！と訴えながら、施策を実行し改革し続けた。私もあの情熱と偉大な背中を見てきた一人だ。農協人として明日をより良く変える為の今を創る使命がある。「大内」

**暖**かいを通り越して暑いが続く日々。ぼらーの広場に寄せられた夏バテ対策をちよっぴりフライングで試した。試してみても改めて思う。広報誌は自分たちだけで作るものではない。取材先の人々の思いや読み手の皆様の感想で出来ている。みんなの思いを詰め込んだ広報誌を作りたいたと、改めて思った。「小原」



## 編集後記

From Editor's

